

## 2021年度 第2回 豊橋市民病院治験審査委員会 会議の記録の概要

日 時 : 2021年6月30日(水) 17時00分～17時30分  
場 所 : 豊橋市民病院 第一会議室  
出席委員 : 河井通泰, 小山典久, 平松 和洋, 成瀬 賢伸, 間瀬有奈  
柳沼 妙子, 小嶋 聡, 鎌倉利光, 中村 裕美  
※ 関連委員は審議・採決不参加。

### 前回IRB議事録の確認

2021年度第1回の当委員会議事録の確認がなされ、了承された。

### 武田薬品工業株式会社の依頼による幹細胞移植歴のない初発の多発性骨髄腫患者を対象としたIxazomibの第3相試験

治験依頼者 : 武田薬品工業株式会社  
研究目的(段階): 治験等の実施に関する研究(第3相)  
被験薬 : Ixazomib

■報告事項: 開発中止等の報告

### 再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象にカルフィルゾミブ、デキサメタゾン及びDaratumumab とカルフィルゾミブ及びデキサメタゾンを比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験

治験依頼者 : 小野薬品工業株式会社  
研究目的(段階): 治験等の実施に関する研究(第3相)  
被験薬 : Carfilzomib(ONO-7057)

治験実施計画の変更: 審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。

■審議結果: 承認

### 中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ (ABT-494) の導入療法及び維持療法における安全性及び有効性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照試験

治験依頼者 : アッヴィ合同会社  
研究目的(段階): 治験等の実施に関する研究(第2/3相)  
被験薬 : ウパダシチニブ (ABT-494)

安全性に係る報告: 審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。

■審議結果: 承認

### 潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ (ABT-494) の安全性及び有効性を評価する第Ⅲ相多施設共同長期継続投与試験

治験依頼者 : アッヴィ合同会社  
研究目的(段階): 治験等の実施に関する研究(第3相)  
被験薬 : ウパダシチニブ (ABT-494)

安全性に係る報告、治験実施計画の変更: 審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。

■審議結果: 承認

### 糖尿病性腎臓病患者を対象としたRTA 402 (Bardoxolone methyl) の第Ⅲ相試験

治験依頼者 : 協和キリン株式会社  
研究目的(段階): 治験等の実施に関する研究(第3相)  
被験薬 : RTA 402

安全性に係る報告、治験実施計画の変更: 審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。

■審議結果: 承認

## セルジーン株式会社の依頼による再発・難治の多発性骨髄腫患者のポマリドミド、低用量デキサメタゾン、ダラツムマブ併用の第2相試験

治験依頼者：セルジーン株式会社  
研究目的(段階)：治験等の実施に関する研究(第2相)  
被験薬：CC-4047

安全性に係る報告、治験実施計画の変更：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。  
■審議結果：承認

## 再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象にレナリドミド及びデキサメタゾン併用時のカルフィルゾミブの週1回投与と週2回投与を比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験

治験依頼者：小野薬品工業株式会社  
研究目的(段階)：治験等の実施に関する研究(第3相)  
被験薬：carfilzomib(ONO-7057)

安全性に係る報告、治験実施計画の変更：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。  
■審議結果：承認

## 関節リウマチ患者を対象としたTS-152の継続長期試験

治験依頼者：大正製薬株式会社  
研究目的(段階)：治験等の実施に関する研究(第3相)  
被験薬：TS-152

治験実施計画の変更、治験実施状況の報告：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。  
■審議結果：承認

## A Phase 3 Multi-center, Open-label Study to Evaluate the Efficacy and Safety of Lanadelumab (SHP643) in Japanese Subjects with Hereditary Angioedema 日本人遺伝性血管性浮腫患者を対象にlanadelumab (SHP643)の有効性及び安全性を評価する第3相多施設共同非盲検試験

治験依頼者：武田薬品工業株式会社  
研究目的(段階)：治験等の実施に関する研究(第3相)  
被験薬：Lanadelumab

安全性に係る報告：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。  
■審議結果：承認

## パレクセル・インターナショナル株式会社(治験国内管理人)の依頼による日本人の成熟B細胞性悪性腫瘍患者を対象としたzanubrutinibの第Ⅰ/Ⅱ相試験

治験依頼者：パレクセル・インターナショナル株式会社  
研究目的(段階)：治験等の実施に関する研究(第1/2相)  
被験薬：zanubrutinib (BGB-3111)

安全性に係る報告、治験実施計画の変更：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。  
■審議結果：承認

## アステラス製薬株式会社の依頼による未治療の急性骨髄性白血病患者を対象とした第Ⅰ/Ⅱ相試験

治験依頼者：アステラス製薬株式会社  
研究目的(段階)：治験等の実施に関する研究(第1/2相)  
被験薬：ASP2215

安全性に係る報告、重篤な有害事象に関する報告：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。  
■審議結果：承認

### SI-449癒着防止システムの開腹による直腸切除術施行患者を対象とした無作為化試験

治験依頼者：生化学工業株式会社

研究目的(段階)：医療機器に於ける臨床試験(ピボタル試験)

被験薬：SI-449

重篤な有害事象に関する報告：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。

■審議結果：承認

### (治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした etrasimodの第3相無作為化、二重盲検試験

治験依頼者：IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社

研究目的(段階)：治験等の実施に関する研究(第3相)

被験薬：etrasimod(APD334)

安全性に係る報告、治験実施計画の変更：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。

■審議結果：承認

### 中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするグセルクマブの安全性及び有効性評価を目的とした第3相、非盲検、多施設共同試験

治験依頼者：ヤンセンファーマ株式会社

研究目的(段階)：治験等の実施に関する研究(第3相)

被験薬：CNTO1959(グセルクマブ)

安全性に係る報告、治験実施計画の変更、治験実施状況の報告：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。

■審議結果：承認

### (治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした etrasimodの第3相二重盲検試験

治験依頼者：IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社

研究目的(段階)：治験等の実施に関する研究(第3相)

被験薬：etrasimod(APD334)

安全性に係る報告、治験実施計画の変更：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。

■審議結果：承認

### (治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした etrasimodの第3相非盲検試験

治験依頼者：IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社

研究目的(段階)：治験等の実施に関する研究(第3相)

被験薬：etrasimod(APD334)

安全性に係る報告、治験実施計画の変更：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。

■審議結果：承認

### ラボコープ・ディベロップメント・ジャパン株式会社(治験国内管理人)の依頼による幹細胞移植非適応の未治療マントル細胞リンパ腫を対象としたBGB-3111の第3相試験

治験依頼者：ラボコープ・ディベロップメント・ジャパン株式会社(コーヴァンス・ジャパン株式会社)  
研究目的(段階)：治験等の実施に関する研究(第3相)  
被験薬：BGB-3111(ザヌブルチニブ)

安全性に係る報告、治験実施計画の変更：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。  
■審議結果：承認

### セルジーン株式会社の依頼による第1b/2a相試験

治験依頼者：セルジーン株式会社  
研究目的(段階)：治験等の実施に関する研究(第1/2相)  
被験薬：CC-220

安全性に係る報告、治験実施計画の変更：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。  
■審議結果：承認

### 武田薬品工業株式会社の依頼による日本人の遺伝性血管性浮腫患者を対象としたlanadelumab (TAK-743)の国内拡大治験

治験依頼者：武田薬品工業株式会社  
研究目的(段階)：治験等の実施に関する研究(該当相なし)  
被験薬：Lanadelumab

安全性に係る報告：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。  
■審議結果：承認

### DREAMM 7: A Multicenter, Open-Label, Randomized Phase III Study to Evaluate the Efficacy and Safety of the Combination of Belantamab Mafodotin, Bortezomib, and Dexamethasone (B-Vd) Compared with the Combination of Daratumumab, Bortezomib and Dexamethasone (D-Vd) in Participants with Relapsed/Refractory Multiple Myeloma (DREAMM 7:再発・難治性多発性骨髄腫患者を対象としてbelantamab mafodotin、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン併用療法(B-Vd)の有効性及び安全性をダラツムマブ、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン併用療法(D-Vd)と比較検討する多施設共同非盲検無作為化第III相試験)

治験依頼者：グラクソ・スミスクライン株式会社  
研究目的(段階)：治験等の実施に関する研究(第3相)  
被験薬：GSK2857916

安全性に係る報告、治験実施計画の変更：審議資料に基づき、当院における治験継続の妥当性について審議した。  
■審議結果：承認